

目次

- 巻頭言(有光苑理事長)……………(1)
- 第72回 社明運動……………(2)(3)
- 性犯罪プログラムについて・
地区サポートセンター……………(3)
- 地区だより……………(4)(5)
- 自由往来、県更女・県BBS・
県功労保護司の会だより……………(6)
- こんにちは……………(7)
- 県保連・県更保協会
令和3年度収支決算書……………(7)
- 第61回県更生保護大会
敬弔、保護司の異動、他……………(8)

更生保護 いばらき

特集

第72回 社会を明るくする運動

第155号

発行人

茨城県保護司会連合会
茨城県更生保護協会
水戸市北見町1の1
水戸保護観察所内
TEL/FAX
029-226-7034
FAX
029-303-5334
E-mail
iba-kenporen@sweet.ocn.ne.jp



いばらきフラワーパーク山頂の「サークルロッジ」

写真提供 石岡市

御下賜金の拝受を得て



更生保護法人

有光苑 理事長 幡谷 浩史

有光苑は1899年の創設以来、県内唯一の更生保護施設として矯正施設から釈放された方々を受け入れています。宿泊・食事の提供、生活指導・就労指導さらに福祉・医療の援助など、その人に相応しい物心両面の援助や住みやすい環境を整え苑生が一日も早く自立し健全な社会生活が営めるよう補導員が寝食を共にしながら相談助言を行い社会復帰を図っています。

天皇誕生日にあたって更生保護法人に贈られる御下賜金伝達式上「多年にわたる関係者の皆さまの深い人間愛に支えられた社会奉仕の念に、深甚なる謝意と敬意を表します」と水戸地検の長谷川検事正から御下賜金と鄭重なるご祝辞を賜りました。有光苑を代表し「罪や非行を犯した人たちの社会復帰を支えてきた功績が認められ、理事長として身の引き締まる思い、御下賜を頂戴したことを糧に一層頑張る」と謝辞を述べました。今回の拝受は4度目、昭和・平成でも頂戴し令和でも頂けた、これからも精一杯努めようと気持ちを新たにしました。

ある社会面の新聞記事に、再犯防止のため弁護士が逮捕・勾留された人や刑務所から出所した人の生活や就職を支援し社会復帰の手助けをする「寄り添い弁護士制度」が導入され、ある県の弁護士会は支援件数が150件を超え着々と実績が積みあがっている!と強調しています。一方、県では「今年11人の県職員が保護司に就任した」との記事が掲載されました。県内では保護司の減少傾向と高齢化の中で担い手を増やそうと、知事の発案によって、興味ある人にアンケートを実施し希望者にはインターンシップを実践させて周知の機会を創ることによって、今年5月の新任保護司は前回の約4倍の41人に増え、更に、市町村へも職員に勧誘を呼びかけています。

ここに県更生保護協会を始め保護司会・女性会・BBS・びおらの会等多くのご支援に深く感謝申し上げ近況報告といたします。



野澤町長ヘメッセージ伝達
河内町役場(龍ヶ崎地区)



筑西市「いきがいセンター」入口へのぼり旗設置
(西地区)



小川市長ヘメッセージ伝達
日立市役所(日立地区)



木村市長ヘメッセージ伝達
坂東市役所(猿島地区)



社明運動街頭キャンペーン
常陸太田市役所(久慈地区)



サンユーストア大津港店にて社明運動キャンペーン
(北地区)

令和4年4月、性犯罪のプログラムの名称が「性犯罪者処遇プログラム」から「性犯罪再犯防止プログラム」に変更されました。主任官と対象者が一致してプログラムを実施する、という点は変更ありませんが、使用するワークブックの内容は大きく変更されています。

担当保護司にとって変更点が1つあります。それは、主任官による5回のコアプログラム修了後、保護司と対象者が面接する際には毎月「セルフチェックシート」を活用した指導をしていただくようになった、ということです。面接において、対人関係等でトラブルはないか、また、問題が起きたときどのように対処しているか、など一緒に考えていくものです。とはいえ、同シートの対象となるのは、A・A・S区分の者のみです。実際に同シートを使用した指導をお願いする場合には主任官が担当保護司に対し個別に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。



水戸保護観察所
統括保護観察官
池野 英樹

性犯罪のプログラムについて



サポートセンター入口付近
(亀城プラザ2階)



サポートセンターの内部

旧土浦市役所中央出張所の解体に伴い、土浦地区更生保護サポートセンターは、中央2丁目の亀城プラザ2階に移転しました。5月21日(土)に石毛一美会長はじめ役員の方々によって引っ越しが行われ、1週間の整備作業を経て、6月2日(木)から業務を再開しました。新サポートセンはバス停(亀城公園前)が目前にあり、面談に訪れる対象者にとって交通の便が格段に良くなりました。また、旧サポートセンでは外階段での昇降を強いられていましたが、ここではエレベーターを使えますので、脚元の覚束なくなった身には有り難い限りです。会員一同、亀城公園を眼下にして、気持ちよく活動をしています。

当保護区は1市3町で成り立ち、東に太平洋を望み、北は栃木県境、南は霞ヶ浦に面するといふ地理的条件下で配付物を届ける事で大変でしたが、支部ごとのラックを設置し各支部へ随時持ち帰ることができるようになり事務的負担軽減にも役立ており、もはや欠くことのできない施設であります。

土浦地区更生保護サポートセンター

土浦地区
松井 泰寿

更生保護の拠点

東茨城地区更生保護サポートセンター

東茨城地区
望月 融玄

全国統一ポスター



道の駅「かわプラザ」にのぼり旗設置
(那珂地区)



イオンモール水戸内原にて啓発ビデオ放映
(水戸地区)



鉾田市内での街頭キャンペーン
(鹿島地区)



つくば市庁舎にて講演会
(つくば地区)



互会小学校にてキャンペーン
(石岡地区)



小美玉市社会福祉協議会へ
啓発品寄贈(東茨城地区)



寛市長ヘメッセージ伝達
稲敷市役所(江戸崎地区)



取手駅頭キャンペーン
(取手地区)



更女会員と社明作文を依頼
ひたちなか市立美乃浜学園にて(東地区)



友部小6年生へオンラインでの啓発活動
(笠間地区)



潮来市庁舎に横断幕を設置
(なめがた地区)



更女会と共にパンフレットのとりこみ作業
生涯学習センター(常総地区)



土浦一中地区公民館にて土浦警察署石川生活安全課長より講話
(土浦地区)

第72回「社会を明るくする運動」 写真で綴る各地区の活動状況



第72回「社会を明るくする運動」(犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ)の各活動が、本年も7月を強調月間として県内各地で展開されました。本年の活動も、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮し、地域ごとに感染予防対策を講じながら、多くの広報活動が実施されました。コロナ禍にも拘わらず、ご支援、ご協力いただきました皆様方に、厚く御礼申し上げます。

茨城県推進委員会事務局



完成した「メダカの学校」

り、「メダカと遊ぼう」、がテーマ。檜の残材で箱を打ち付け、発泡スチロールの器にメダカを入れ、鑑賞するもの。メダカの餌、水槽の様子、産卵、卵の孵化、毎日小さなメダカに癒され、家族で楽しむことができます。当日は、樹輪代表者や久慈地区保護司会犯罪予防部長の挨拶、樹輪スタッフから作品造りの説明指導を受けた後、親子で相談しながら楽しそうにメダカを入れるケースの製作に挑戦していました。また、同会場で「社会を明るくする運動」を推進する久慈地区保護司会の協力を得て、保護司による「削り華（かん）で削った薄い皮でつくる造花」づくり体験もありました。完成した作品に「社会を明るくする運動、久慈地区保護司会」のスタンプを貼りました。親子で作った作品に今年も参加者から喜びの声が出ておりました。

守谷支部保護司会と守谷市更生保護女性会は、15年前から社会を明るくする運動の一環で「愛の募金・映画会」を共催し、市民が楽しく社会を明るくする運動に協力していただけるよう努めてきました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた2年前から映画会は中止となったままでしたが、今年度はなんとかできる方法はないかと協議した結果、映画鑑賞者を公民館ホール定員



映画会を共催した守谷支部保護司会と更女会のスタッフ

の半分とし、上映を午前と午後の2回で実施しました。令和4年7月3日は快晴、猛暑の日でしたが、300名を超す来場者があり、各種杜明グッズを配布することができました。映画は「お終活」という今日のテーマを、笑いあり、涙ありの感動物語に仕立てられていました。皆様から、自身のご家庭の配偶者の事を見直すきっかけになると言われました。どんな環境下でも更生保護の活動が進められ、地域に寛容の芽が育ちますよう、皆で力を合わせたいと私達は願っています。

5月20日、水戸市役所大会議室に於いて、地域別自主研修会を水戸地区保護司会総会に先立ち、総会同様3年ぶりに実施することが出来た。講師は水戸少年鑑別所法務教官の徳永理先生で、昨年度まで20年間少年院に勤務されていた経験から「子ども達との絆を作るには？」の演題のもとに講話をいただいた。始めに、統計資料に基づいた昨今の非行少年の現状について、次のように示された。

- ・大麻取締法違反が増加しており、男子では窃盗に次いで2番目で、女子でも大麻を含めた薬物事犯が1番目に多い。
- ・以前は遊び仲間や不良集団での非行が多かったが、今は共犯者無しが最も多い。
- ・被虐待経験者が増えている。
- ・18、19歳での入所者が多く（占有率が高く）なってきた。

中学生は殆ど入ってこない。次に、徳永先生が肌で感じる非行少年の傾向としては、「反社会的から非社会的になってきている。『俺は度胸や気合いだけじゃ負けねえ』といったツッパリは見られなくなった。」「集団に馴染ず、競争心に乏しい。」「高額な維持費がかかるスマホは殆ど持っている。経済的貧困から文化的貧困に移ってきた。」等と話された。



講師の徳永理先生

最後に、少年を指導してきた経験から学んだこととして話されたのは以下のことであった。

- ・モチベーションは低く、声を掛けても受け流される。それでも、掛け続けられ少しずつ変わる。
- ・ルールや賞罰で縛っても、向上心や道徳心は育たない。
- ・文章を書かせることは、自分を客観視できる有効な手段。ただし、なぜ書くことが大切かを伝える必要がある。

全てが分かりやすく納得の講和で、有意義な研修会となった。

地区だより

県西ブロック

コロナ禍における「保護司会活動」

猿島地区 風見 正一

コロナ禍の中、社会活動や経済活動、日常生活に様々な影響が及んでいます。

保護司としての責務、そして、保護司会活動についてもそれは同様で、いろいろな制約のある中で取り組んでいます。

私は、犯罪予防部長として、皆さまにご協力、ご支援を頂きながら「社会を明るくする運動」の関連事業について担当をさせて頂いています。

街頭キャンペーン、学校との情報交換の場の学校訪問等々が中止となる中、昨年度に続き、今年度も「作文コンテスト」については、実施をしています。

教育現場においても、課題が多い中、ご協力を頂いている事に感謝している所です。

また、賛助会員の件についても、犯罪予防部が担当をしています。

保護司各位が、それぞれの関係を通じて集めて頂いております。

すが、ここにも「コロナ禍」の影響が直撃している中、ご協力を頂き、有り難く思っています。

ただ、各保護司さんとの関係の深い中での賛助会員と云う事で、担当保護司の退任と同時に賛助会員の退会となっている現状にあり、コロナ禍の中、新規の募集が進みにくいと言いう状況もあります。

今後、賛助会員の募集要項について、検討する事も必要になってくるのかなとも考えています。最後に、保護司として、対象者との面接「来訪」について、少し書かせて頂きたいと思っています。今、家庭環境や社会環境の多様化、複雑化の中で、「来訪」の難しさを言われる保護司が少なくありません。

当地区保護司会は境町にサポートセンターを置いています。

私が住む坂東市からは遠くありませんが、面接の場としては、開設時間の関係で使えません。対象者との面接を自宅で行う事をしなくても済むように、市と協議をして、曜日に関係なく、時間も夜9時まで利用できる公共施設を、予約利用できるようにしました。

これからも、保護司としての活動が行いやすい環境作りを

県南ブロック

愛の募金・映画会

取手地区 高木 保

取手地区保護司会は取手市守谷市、利根町の3市町が地区として大会やキャンペーン、研修等を行い、更生保護の思想を地域に根付かせるべく活動しています。この3市町は最も県南にあり、利根川を挟み千葉県に接しています。

中でも守谷市はつくばエクスプレスの開業に伴い人口増加が著しい地域です。住み良さランキングでも上位に評価されていますが、市制20年の若い街で住民の8割以上が他県、他市町村からの移住者です。

守谷支部保護司会と守谷市更生保護女性会は、15年前から社会を明るくする運動の一環で「愛の募金・映画会」を共催し、市民が楽しく社会を明るくする運動に協力していただけるよう努めてきました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた2年前から映画会は中止となったままでしたが、今年度はなんとかできる方法はないかと協議した結果、映画鑑賞者を公民館ホール定員



図ってきたいと考えています。社明作文審査風景

県南ブロック

ICT委員会

土浦地区 松井 泰寿

土浦地区保護司会は令和3年12月に、茨城県保護司連合会より「ICT推進モデル地区」の指定を受け、保護司会活動のICT化に取り組むことになりました。令和4年度も引き続き指定を受け、ICT委員会を設置して、活動を深めていくこととしました。今年度はまず、会議及び関係者に対する連絡のペーパーレス化を図ることを目標に、小委員会の5名を中心に取組を開始しました。その活動目標は、まず次の4つとしました。

①LINEのグループ化
土浦地区保護司会連絡網にLINEを活用する。
各中学校地区毎のグループ化
役員会(23人)のグループ化

②土浦地区保護司会としてのルール作り
各中学校地区連絡網、役員会連絡網共に、メッセージ返信を要とし、返信を短く「了解」「わかりました」などとする。

③ICT化推進に伴う必要備品購入
④LINE講習会の開催
6月13、14日に小委員会の5名が講師となって実施し、17名の方が受講されました。受講者全員がLINE未使用者で、なかにはインストールさえしていない方もおられました。最初はIT言語が理解できず、あたふたしましたが、講師の方のマンツーマンの指導よろしきを得て、何とか操作できるようになり、互いに送受信を繰り返すうちに、便利さに気づき、孫と写真のやり取りが出来ると笑顔を見せる方もおられました。

委員会では、今後レベルアップ講習会も企画しており、ICT化を促進していく予定です。



LINE講習

県北ブロック

社会を明るくする運動

「樹輪、親父の出番」

久慈地区 岡部 芳雄

久慈地区では、「社会を明るくする運動」の一環として、毎年6月の第3日曜日の父の日、大子町の樹輪工場にて「親父の出番」を開催し、今年で33回を迎えました。久慈地区は、常陸太田市と大子町で構成された保護司会です。開催までにコロナ陽性者が少数数出ている状況で実施が危ぶまれましたが、感染対策に配慮し、時間を短縮しながら開催にこぎつけ、6月19日、親子15組を含む総勢90人が参加し2年ぶりの開催となりました。

「親父の出番」は、家庭で使う木工品を作り、父の日に親父の力を発揮して、もう一度親父の存在を見直してもらうことを目的としております。平成23年の東日本大震災では、久慈地区保護司会や関係機関のご協力により、震災に見舞われた東北各県の自治体や学校等へ縁台258台を作り、参加者さんのメッセージを書き込み、その思いを送り届けました。

今年は、「メダカの学校」を作



高野先生に喜寿の祝届く

7月の上旬、開所4年目のサポートセンターに於いて、功労保護司の高野典子先生よりお話を伺いました。先生は34年間教員としてお勤めの後、先輩保護司の方からお誘いを受け、地域への恩返しを受けたいとの思いから引き受けになりました。保護司として先生は、「更生を助け援助する保護司の役目は、厳しく・優しく・温かい目で見守り、現実と向き合う心に気づかせたい。」との思いで、15年間活動してこれ来ました。

こんにちは

No.88

よりそって

常総地区功労保護司
高野 典子氏を訪ねて

また、面接で心がけていたのは、対象者の話に耳を傾け聴くことに徹することでした。さらに、家族の協力なくしては立ち直りは困難との考えから、往訪した際は家族との話し合いを設け意図疎通を図ったそうです。無事保護観察が終了する最終面接では、「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えることができる。」という言葉を贈り、対象者が希望をもって生活できるよう励まされていきました。スーパードクター等と対象者と会うこともあるそうですが、「よう、先生。」と声をかけてくれる隣には、奥さんと子ども。立ち直った姿に喜びもひとしおのことでした。

保護司としての15年間には悩みもありましたが、家族には言えないことを同じ立場の保護司仲間と相談することで、助けられたとお話もありました。

現在は、功労保護司の会の幹事・会計を担当されています。コロナ禍以前は、総会や食事会、研修(史跡巡り・観劇)等を行い交流を深めていました。また、先生は更生保護女性会の会長を6年間お務めにもなられました。

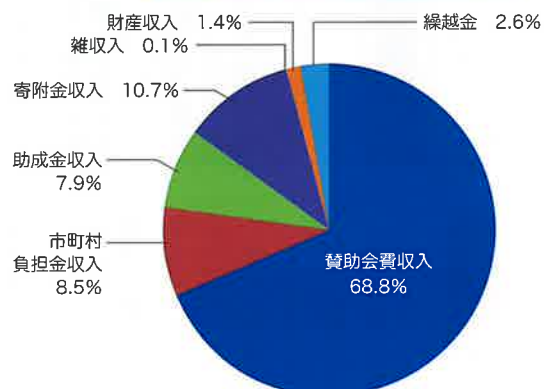
いつも明るく若々しい高野先生、これからもご指導よろしくお願い致します。

(飯田 道子 記)

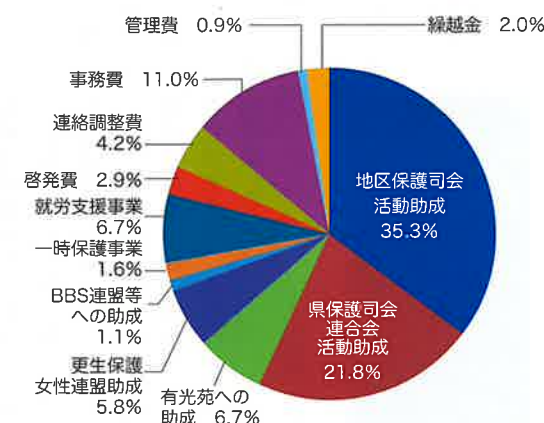
令和3年度 更生保護法人茨城県更生保護協会収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入 総額 22,405,327円



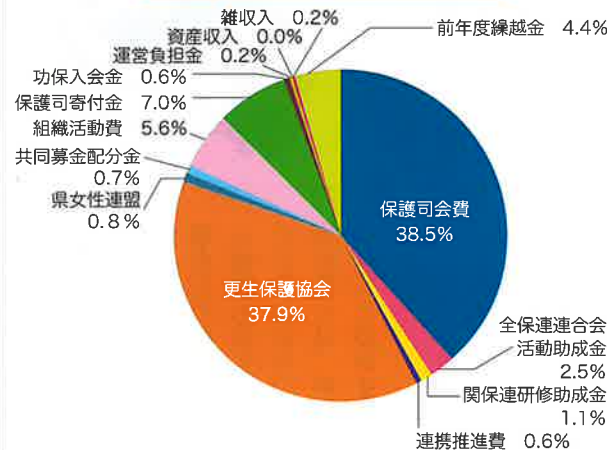
支出 総額 22,405,327円



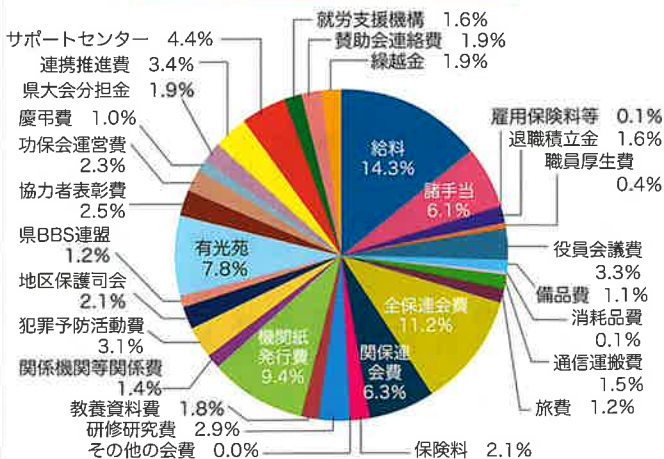
令和3年度 茨城県保護司会連合会収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入 総額 12,872,004円



支出 総額 12,872,004円



自由往来

私のコンサート巡り

龍ヶ崎地区保護司会
田坂 由美子

先日、久々に娘とコンサートに出かけました。世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチとヴァイオリニスト、ギドン・クレーメルという二大スターの共演でした。コロナ禍で演奏会等控えてきたので実に3年ぶりのサントリーホール、また81才になるアルゲリッチの演奏は、20数年前ノバホールで聴いて以来でしたので期待と興奮で胸が高鳴りました。現在の世界情勢を映し、反戦を意図した重厚なプログラムでしたが、彼女の艶やかにして円やか、そしてピアノニシモの静謐な音色は以前にも増して感動的でした。



ピアノのレッスン風景

を」と上野の文化会館へ数回連れて行って下さいました。後に大阪万博のコンパニオンを勤めた際、会場に建設された万博ホールに当時世界の名立たる音楽家達が来日しました。高校時代の貴重な経験を思い出し、この好機を逃しては、と高額のチケットを必死に買い求め通いました。また30代半ば、夫の転勤で米国に滞在した折にはオペラの魅力に開眼しました。近所の英国人夫妻のお誘いでサンフランシスコのオペラハウスが身近になりました。

こういった経験を少しでも周囲の人々に伝えたいという思いで地元でピアノ教室を営んで40年以上になります。また指導している地域の合唱団と共に介護施設の慰問等、音楽活動に勤しんでおります。

県更女だより

創立60周年記念誌を発刊して

高萩市更生保護女性会
会長 佐川 睦子

高萩市更生保護女性会は、昭和37年7月30日に結成され、令和4年7月に60周年を迎えました。この3年、世界を震撼させている新型コロナウイルスの拡大により非常事態宣言、緊急事態宣言、蔓延防止宣言等が発出され、更女会活動も縮小せざるを得ませんでした。

諸先輩が築かれた活動の礎や志が、脈々と受け継がれてきた60年です。「地域の人々に寄り添い地域の中に更生保護の心を広げる」という提言を受けて活動の輪を広げてきましたが、社会情勢を踏まえて、今回は式典は行わず記念誌を発刊することといたしました。次世代に引き継ぐ記録として、平成24年から令和3年までの10年間のあゆみです。編集に当たっては研修会の綴りや広報紙等から写真を中心に行き事ごとにとり、「目で見て楽しめる記念誌」といたしました。

60周年記念誌発刊を祝して



60周年記念誌発刊を祝して

県BBSだより

対面での活動を経てオンライン活動の活性化へ

茨城県BBS連盟
副会長 夢沼 礼敬

COVID-19の影響により対面活動がままにはばかられるなか、茨城県BBS連盟はICTを利用した活動に力を入れています。しかし、他団体の方々にはオンラインでの活動に不慣れな方がまだまだ多いのも事実です。

そこで、6月末に常総市の保護司会とLINE講座を行いました。平日開催のためBBS会員も社会人會員のみの参加でしたが、参加者一人ひとりとゆっくりコミュニケーションを取りながら進めることができました。

学生會員が当たり前のようになっているツールでも、それに馴染みのない方々からすれば新しい機能なので、それを今までより使えるようになって面白かった、楽しかったと感じてもらったことができました。

今後は学生會員を主体としたLINE講座を開催して、学生會員と保護司会の方々が対面で交流できる機会をつくるとともに、ICTを利用した活動の場づくりにもより力を入れていきます。



常総地区保護司会でのLINE講座

茨城県功労保護司の会だより



茨城県功労保護司の会
つくば支部
飯塚 忠男

全国に先駆けて功労保護司の会は平成26年5月29日設立総会開催、初年度の活動を開始した。支部活動報告書を開くと、支部総会や県大会への出席。社明運動や美化活動への参加協力。会員相互のふれあい活動等記録されている。当支部も作業に汗を流し、ティタイムを兼ねての支部会など順調な発足だった。あれから10年。コロナ禍の影響等も然る事ながら会の行方にも多少の不安を感じる昨今である。その一つは退会者も多く加入者少ないのが會員の高齢化が進むという厳しい現実。更に保護司会との連携協力等もお手厚い内容に終始し主本会設立の趣旨を鑑みるに、極めて不遜な提言ではあるが、新會員確保を第一とし、功労保護司の会の活動を会員相互の親睦と見守り支え合いに焦点化すること、依って小さい組織でも高齢保護司の福祉活動という新しい拠点が開かれるだろう。會員の連帯意識の希薄等を指摘するまでもなく本会の行く末に高齢會員(87歳)反芻の日々であります。

令和4年度県功労保護司の会

会長 長 本 信
副会長 鹿行 富 上 博 生
県南 飯塚 忠男
県北 齋藤 健博
県東 齋藤 健博
県西 齋藤 健博



大会風景(第58回)

会場案内図 水戸市千波町東久保697番地
TEL 029-241-1166代



第61回 茨城県更生保護大会

西地区保護司会 会長 野口 祐一

本年11月9日(水)ザ・ヒロサワ・シティ会館において、第61回茨城県更生保護大会を開催すべく、すでに準備等を進めております。

本年度は、県西ブロックが担当となりますが、新型コロナウイルス感染症の状況に注視しながら、水戸保護観察所及び茨城県保護司会連合会と連携を図り、

参加される方々の安全を第一に考えた大会にできるよう準備を進めて参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

敬 弔
次の方々のご逝去に接し、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

三浦 實殿(ひたちなか・保護司) (4・7・24)

根本 芙美殿(なめがた・功労保護司) (4・8・14)

保護司の異動

○退任(敬称略) 4名

栗野 英武(西) 門井 幸男(西)
谷田部京子(西) 吉原 正夫(那珂) (4・7・31付)



本年度、サザコーヒーの協力を得て、社会を明るくする運動のオリジナルグッズとなるカップオンコーヒーを作りました。さて、パッケージには、茨城県の物産と共に、更生保護の関係者をキャラクターにした動物

達が描かれています。皆さんもご存じの更生ペンギンの「ホゴちゃん」「サラちゃん」以外の動物達を紹介させていただきまます。お見知りおきいただければ、幸いです。

クジラ先生・保護司
オコジョさん・更生保護女性会員
アシカ親方・協力雇用主
イルカさん、イルカ姉さん・BBS会員

あとがき

保護司のなり手不足の改善に向けた取り組みが奏功して、今春は私の所属する地区でも新たに7名が保護司となった。これを受けて7月には地区新任研修会を実施し、私もアドバイザーの一人として参加した。新任保護司は皆若く、殆どが現役で仕事をしている。現役を退いてから義理ある人に誘われ、何となくこの道に入った情けない保護司の私には、新任保護司の意欲に満ちた姿がまぶしく感じる程であった。

さて、今の我が国に目を向ければ、社会への不満や閉塞感、不安感から自暴自棄になり、無差別殺傷や拡大自殺等を起こす衝撃的な事件が後を絶たない。先日の安倍元首相暗殺事件は、

動機は異質かもしれないが共通点がある。それは、犯人が社会的孤立に陥っていたことだ。私たち保護司の最大の使命は、対象者に寄り添い孤立させないことであろう。使命の大きさを再認識したい。

(篠原 記)



〈編集委員〉

◎篠原 光 ○櫻井 一美
佐川憲一郎 渡辺美智子
菅谷 京子

◎編集委員長 ○編集副委員長
小坪 健二(校正協力)
五十嵐 博(校正協力)

谷田 隆 水柿 修一
大高 幸夫 根本 正裕
會澤 康文 志賀 聡
松井 泰寿 亀井比志子
宮本 知嗣 久保 美保
澤口 正雄 飯田 道子
関 好太郎 郡司 良治

〈事務局〉

企画調整課長 綿引久一郎
企画調整課保護観察官 伊東 広晃
県保連事務局長 大津 辰夫

目次

- 巻頭言(有光苑理事長).....(1)
- 第72回 社明運動.....(2)(3)
- 性犯罪プログラムについて・地区サポートセンター.....(3)
- 地区だより.....(4)(5)
- 自由往来、県更女・県BBS・県功労保護司の会だより.....(6)
- こんには.....(7)
- 県保連・県更保協会 令和3年度収支決算書.....(7)
- 第61回県更生保護大会 敬申、保護司の異動、他.....(8)

更生保護 いばらき

特集 第72回 社会を明るくする運動

第155号

発行人

茨城県保護司会連合会
茨城県更生保護協会
水戸市北見町1の1
水戸保護観察所内
TEL/FAX
029-226-7034
FAX
029-303-5334
E-mail
iba-kenporen@sweet.ocn.ne.jp



いばらきフラワーパーク山頂の「サークルロッジ」

写真提供 石岡市

有光苑は1899年の創設以来、県内唯一の更生保護施設として矯正施設から釈放された方々を受け入れています。宿泊・食事の提供、生活指導・就労指導さらに福祉・医療の援助など、その人に相応しい物心両面の援助や住みやすい環境を整え苑生が一日も早く自立し健全な社会生活が営めるよう補導員が寝食を共にしながら相談助言を行い社会復帰を図っています。

天皇誕生日にあたって更生保護法人に贈られる御下賜金伝達式上「多年にわたる関係者の皆さまの深い人間愛に支えられた社会奉仕の念に、深甚なる謝意と敬意を表します」と水戸地検の長谷川検事正から御下賜金と鄭重なるご祝辞を賜りました。有光苑を代表し「罪や非行を犯した人たちの社会復帰を支えてきた功績が認められ、理事長として身の引き締まる思い、御下賜を頂戴したことを糧に一層頑張る」と謝辞を述べました。今回の拝受は4度目、昭和・平成でも頂戴し令和でも頂戴した、これからも精一杯努めようと気持ちを新たにしました。

ある社会面の新聞記事に、再犯防止のため弁護士が逮捕・勾留された人や刑務所から出所した人の生活や就職を支援し社会復帰の手助けをする「寄り添い弁護士制度」が導入され、ある県の弁護士会は支援件数が150件を超え着々と実績が積みあがっている」と強調しています。一方、県では「今年11人の県職員が保護司に就任した」との記事が掲載されました。県内では保護司の減少傾向と高齢化の中で担い手を増やそうと、知事の発案によって、興味ある人にアンケートを実施し希望者にはインターンシップを実践させて周知の機会を創ることによって、今年5月の新任保護司は前回の約4倍の41人に増え、更に、市町村へも職員に勧誘を呼びかけています。

ここに県更生保護協会を始め保護司会・女性会・BBS・びおらの会等多くのご支援に深く感謝申し上げ近況報告といたします。



更生保護法人
有光苑 理事長 幡谷 浩史

御下賜金の拝受を得て



大会風景(第58回)

会場案内図 水戸市千波町東久保697番地
TEL 029-241-1166代



参加される方々の安全を第一に考えた大会にできるよう準備を進めて参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年度は、県西ブロックが担当となりますが、新型コロナウイルス感染症の状況に注視しながら、水戸保護観察所及び茨城県保護司会連合会と連携を図り、

第61回茨城県更生保護大会

西地区保護司会 会長 野口 祐一

本年11月9日(水)ザ・ヒロサワ・シティ会館において、第61回茨城県更生保護大会を開催すべく、すでに準備等を進めております。

大会を成功裏に開催したいと考えております。

なお、大会の開催に際しては、参加人数を制限し、アトラクションを中止するなどして開催時間を短縮することで、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じていくこととしております。

保護司の異動

○退任(敬称略) 4名
栗野 英武(西) 門井 幸男(西)
谷田部京子(西) 吉原 正夫(那珂)
(4・7・31付)

敬申
次の方々のご逝去に接し、生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

三浦 實殿(ひたちなか保護司)
(4・7・24)
根本 美美殿(ながた功労保護司)
(4・8・14)

あとかぎ

保護司のなり手不足の改善に向けた取り組みが奏功して、今春は私の所属する地区でも新たに7名が保護司となった。これを受けて7月には地区新任研修会を実施し、私もアドバイザーの一人として参加した。新任保護司は皆若く、殆どが現役で仕事をしている。現役を退いてから義理ある人に誘われ、何となくこの道に入った情けない保護司の私には、新任保護司の意欲に満ちた姿がまぶしく感じる程であった。

さて、今の我が国に目を向ければ、社会への不満や閉塞感、不安感から自暴自棄になり、無差別殺傷や拡大自殺等を起こす衝撃的な事件が後を絶たない。先日の安倍元首相暗殺事件は、



動機は異質かもしれないが共通点がある。それは、犯人が社会的孤立に陥っていたことだ。私たち保護司の最大の使命は、対象者に寄り添い孤立させないことである。使命の大きさを再認識したい。

(篠原 記)

- 〈編集委員〉
篠原 光 ○櫻井 一美
佐川憲一郎 渡辺美智子
菅谷 京子
- 編集委員長 ○編集副委員長
小坪 健二(校正協力)
五十嵐 博(校正協力)
谷田 隆 水柿 修一
大高 幸夫 根本 正裕
會澤 康文 志賀 聡
松井 泰寿 亀井比志子
宮本 知嗣 久保 美保
澤口 正雄 飯田 道子
関 好太郎 郡司 良治
- 〈事務局〉
企画調整課長 綿引久一郎
企画調整課保護観察官 伊東 広晃
県保連事務局長 大津 辰夫